

# 平成28年度 「市民と議会のつどい」 アンケートに対する回答



(11月11日 教育センターの様子)

平成28年10月28日、11月4日、11月11日に開催された平成28年度「市民と議会のつどい」で実施した参加者アンケートの集計結果及び、市議会または市政運営に対する質問、要望などに対する回答です。

ご自由にご覧ください。

## 下関市議会

# 目次

はじめに	1
------	---

アンケート結果(全体)	2
-------------	---

※アンケート回答者からの感想やご意見などの詳細や、議会へのご質問に対する回答などは、「各会場ごとのアンケート結果と回答」のほうにございます。

## 【各会場ごとのアンケート結果と回答】

### アブニール(開催日:10月28日)

アンケート結果	4
---------	---

市議会に対するご質問、ご要望への回答	8
--------------------	---

### 川棚公民館(開催日:11月4日)

アンケート結果	13
---------	----

市議会に対するご質問、ご要望への回答	17
--------------------	----

### 下関市教育センター(開催日:11月11日)

アンケート結果	21
---------	----

市議会に対するご質問、ご要望への回答	26
--------------------	----

各委員会の紹介	31
---------	----

## はじめに

- ・ 下関市議会では、平成24年4月から施行された下関市議会基本条例の制定に伴い、市政の情報発信と議会活動報告を通じて、市民に開かれた議会、市民参加の議会を目指すために「市民と議会のつどい」を開催することとしています。
- ・ 今回の「つどい」は、平成28年10月28日（アブニール）、11月4日（川棚公民館）、11月11日（教育センター）の3日、3会場にて開催。合計146名の市民の皆様にご参加をいただき、活発な意見交換が行われました。
- ・ この冊子は、当日実施しましたアンケートの集計結果、及びアンケートでいただいた市議会へのご質問、ご要望等に対する回答集です。ぜひご覧ください。

※今回のアンケートの集計結果、及びアンケートでいただいたご質問、ご要望に対する回答集は、下記下関市議会のホームページでもご覧いただけます。

URL「<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/www/contents/1348971631999/index.html>」



（10月28日 アブニールの様子）



（11月4日 川棚公民館の様子）

・ 皆様からいただいたつどいに対するご意見につきましては、今後、より多くの皆様に参加しやすいよう、また、充実した内容となるよう議会運営委員会等で検討させていただきます。

・ 次回つどいの開催日時、会場等の詳細につきましては、決まり次第市報等を通じてお知らせします。

（この冊子に関するお問い合わせ先）

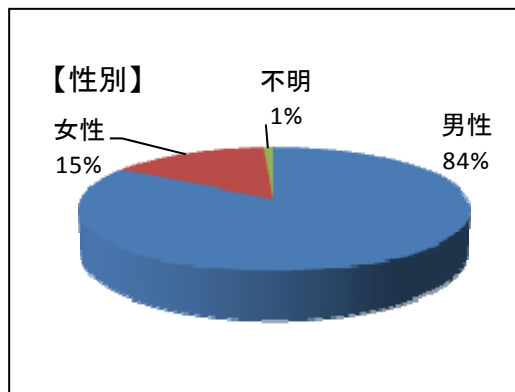
下関市議会事務局 議事課 電話（083）231-4121

# 市民と議会のつどい アンケート結果（全体）

参加者146名、アンケート回答者104名、アンケート回収率71%

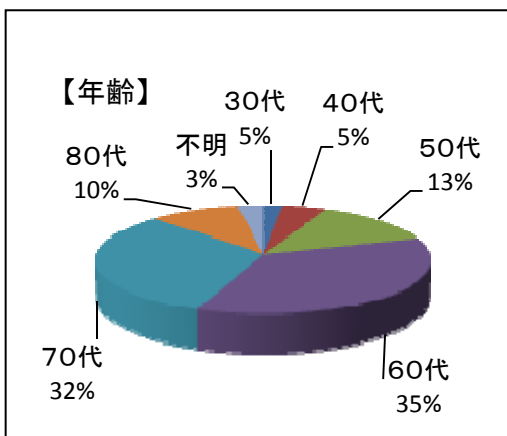
## 【性別】

性別	集計
男性	87
女性	16
不明	1
総計	104



## 【年齢】

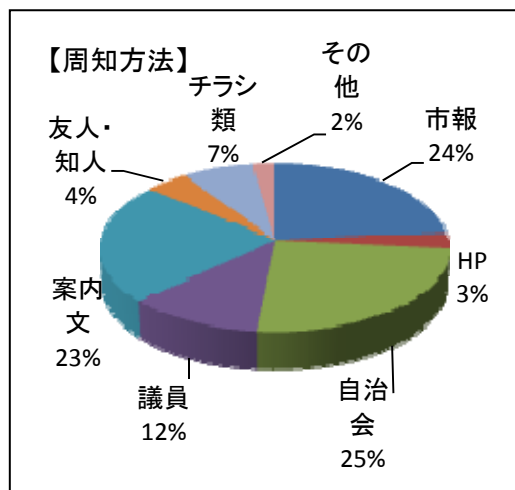
年齢	集計
30代	2
40代	5
50代	14
60代	37
70代	33
80代	10
不明	3
総計	104



## 【開催を何で知りましたか】

※複数回答

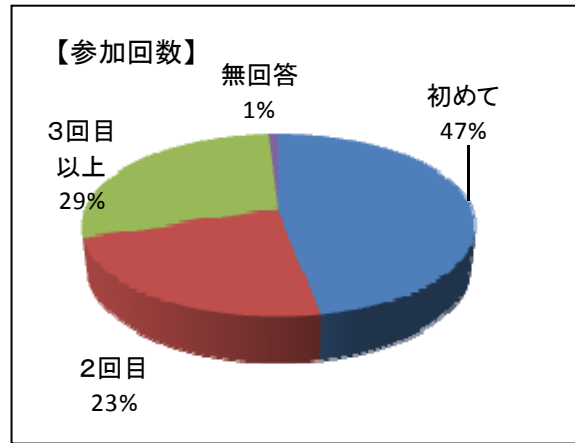
周知方法	集計
市報（議会だより）	32
議会ホームページ	4
自治会の回覧・掲示	34
議員から	16
議会からの案内文	31
友人・知人から	6
チラシ・ポスター	10
その他（※）	3
総計	136



※その他…自分が行政に聞いて確認、認知症関係団体から、無回答

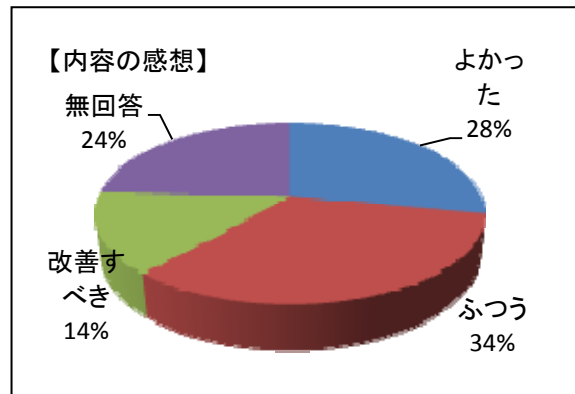
【つどいへの参加は何回目か】

	集計
初めて	49
2回目	24
3回目以上	30
無回答	1
総計	104



【本日のつどいの内容（報告・質疑応答・進行）についての感想】

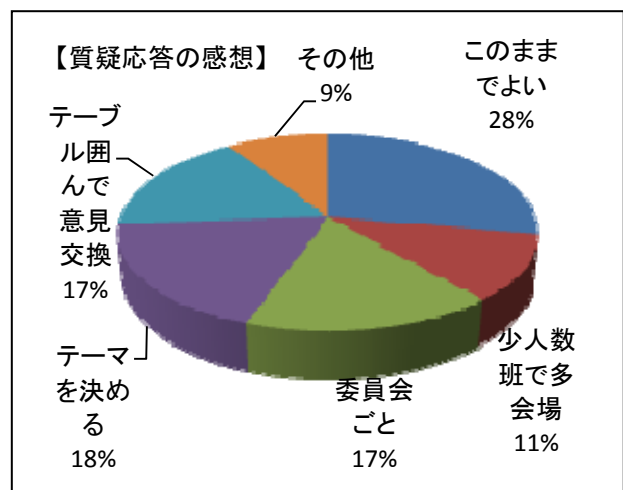
	集計
よかった	29
ふつう	35
改善してほしい	15
無回答	25
総計	104



【次回のつどいはどのようなやり方がよいか】

※複数回答

	集計
このままでよい	33
少人数班で他会場開催	13
委員会ごとに分かれて	20
テーマを決めて行う	22
議員とテーブルで意見交換	20
参加者を無作為抽出	0
その他	11
総計	119



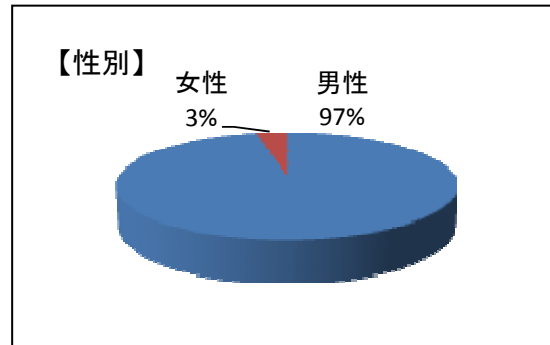
# 市民と議会のつどい アンケート結果

(平成28年10月28日開催：アブニール（菊川ふれあい会館）)

参加者44名、アンケート回答者30名、アンケート回収率68%

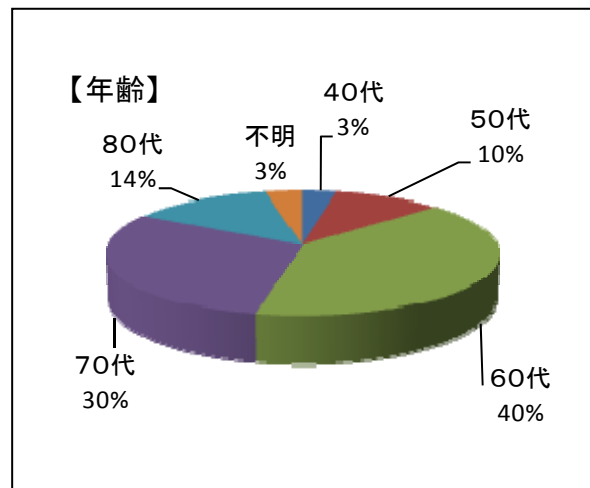
## 【性別】

性別	集計
男性	29
女性	1
総計	30



## 【年齢】

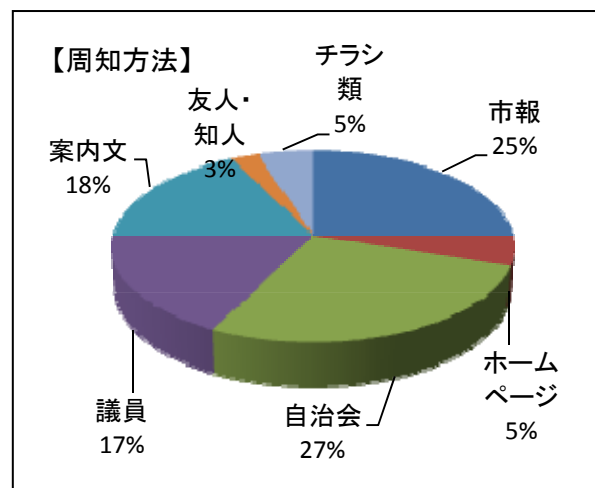
年齢	集計
40代	1
50代	3
60代	12
70代	9
80代	4
不明	1
総計	30



## 【開催を何で知りましたか】

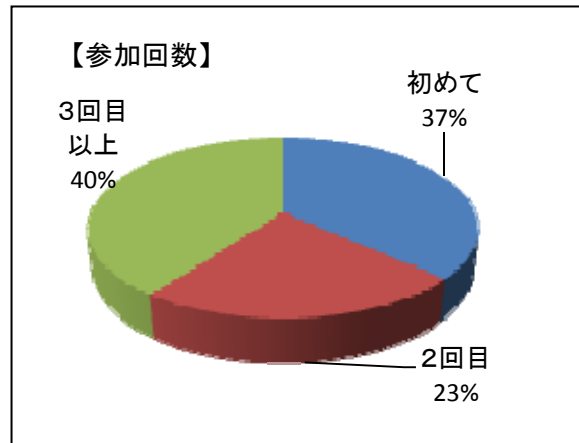
※複数回答

周知方法	集計
市報（議会だより）	10
議会ホームページ	2
自治会の回覧・掲示	11
議員から	7
議会からの案内文	7
友人・知人から	1
チラシ・ポスター	2
総計	36



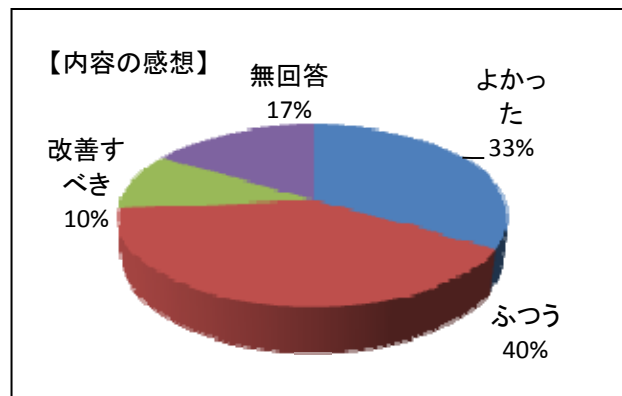
【つどいへの参加は何回目か】

	集計
初めて	11
2回目	7
3回目以上	12
総計	30



【本日のつどいの内容（報告・質疑応答・進行）についての感想】

	集計
良かった	10
ふつう	12
改善してほしい	3
無回答	5
総計	30



(理由)

(良かった)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会の内容がよくわかった。</li> <li>・テンポよく進行され、答えも丁寧でした。</li> <li>・議員に親しみを持った。このような形のつどいをたびたび開いてほしい。</li> <li>・短い時間であったが、各委員長の工夫でよかった。</li> <li>・資料がよくまとめられ、理解ができた。</li> <li>・活発な意見交換でよかった。</li> </ul>

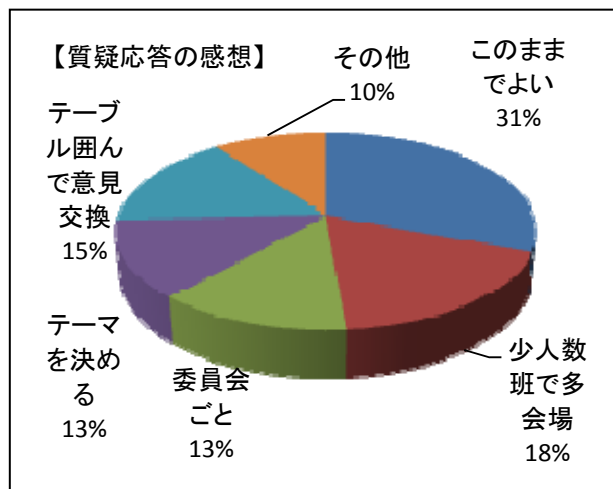
(ふつう)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し議員と住民が話し合いやすいものにしてほしい。</li> <li>・早口で聞き取りにくいところがあった。</li> <li>・質問に対する的確な回答をお願いしたい。</li> </ul>

(改善してほしい)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問に対する回答が十分にされていない。執行部の話で済まらず、議会でのように審議したか、またはどうするかを説明するべき。</li> </ul>

【次回のつどいはどのようなやり方がよいか】

※複数回答

	集計
このままでよい	12
少人数班で他会場開催	7
委員会ごとに分かれて	5
テーマを決めて行う	5
議員とテーブルで意見交換	6
参加者を無作為抽出	0
その他	4
総計	39



(「その他」の内容)

- ・開催された地区から選出された議員も出してほしい。
- ・意見交換の時間を長くする。
- ・どのような形がよいのかよくわからない。
- ・地域ごとに市民が何を望んでいるか積極的に意見を聞いてほしい。



### 【今回のつどいに対するご意見】

(5件)

1	時間は昼間（午後2時～4時ぐらい）が参加しやすい。
2	貴重な資料をいただきありがたい。議会とは何か理解していない方の質問があったことは残念だった。
3	話を聞いて、非常に受け身の態度で、本気で町民のために市を動かそうとする姿勢がまったく見えない。無残です。
4	開催地の問題に重点を置いた説明をするとよいかと思う。
5	事業の時期、スケジュール（道路の完成など）については、具体的な数字がほしい。

### 【議会に対するご意見等】

(4件)

1	市議会議員は市民のための議員、市議会であるべきで、市民のための本当の意味での活動をされているか疑問に感じます。
2	市政も大変大事だが、他県にもあるように下関市議の不正がないように願っている。議長のチェックがあるとのことで安心しているが。
3	自治会長を6年勤めたが、会社定年後20年間目先のことを処理するのに過ぎていった。今80歳になり、やっと子や孫のため、地元のことに向き合っていきたいと考えている。
4	施設をつくるのもいいが、内容をしっかりしてほしい。無駄遣いにならないように！

【市議会に対するご質問・ご要望等への回答】

(平成28年10月28日開催：アブニール)

◎総務委員会（5件）

	内 容	回 答
1	公共施設マネジメントで旧庁舎をなぜ解体しないのか。市民何人に対して職員が配置されているのか。	<p>旧庁舎は増築部分を除き、昭和30年に建てられた鉄筋コンクリート造りですが、躯体の強度試験の結果、まだ耐震補強工事を行うことで使用できることと、歴史的建造物ということで残すこととなりました。</p> <p>市議会ではこの件に関し、すべて解体し、新庁舎とする意見もありましたが、慎重審議の結果、市長の提案通り一部残すこととなりました。</p> <p>職員の件ですが、市民約100人に対し1人の配置です。</p>
2	人口減少対策は。	<p>市においては、人口減少・少子高齢化対策を重要取組課題に位置付け、減少要因のひとつである社会減の対策として、企業誘致による雇用の促進、観光情報発信による交流人口の増加など、さまざまな分野において取り組んでいます。</p> <p>市議会としても、課題解決に向けて取り組んでまいります。</p>
3	豊北町、豊田町は、人口減少、高齢化等、緊急かつ多くの地域社会の課題を抱えている。旧市街の振興だけでなく、周辺地の抱える課題について早急に……	<p>市では、豊北町及び豊田町について、「下関市過疎地域自立促進計画」（計画期間：平成28年～平成32年）を定め、農林水産業等に関する産業の振興や交通通信体系の整備、生活環境の整備などの問題点を抽出しています。</p> <p>市議会としては、その対策について意見や要望をするなどして、地域課題の解決に努力しています。</p>
4	防災に関連して、地域によっては「防災注意」を呼びかける音声がか聞こえにくいという声がある。「防災注意」がよく聞こえるよう、調査してただしてほしい。	<p>防災無線の機器のことかと存じますが、執行部に対しては、機器の不具合の有無の確認を求め、不具合がある場合は早急な対応を求めたところです。</p> <p>なお、平成28年9月より「しものせき緊急情報自動案内」のサービスも始まり、災害時に屋外スピーカーや広報車などの内</p>

		<p>容を聞き逃した場合に、電話でその確認ができるようになりましたのでお知らせいたします。</p> <p>【電話番号 0180-99-8080】</p>
5	<p>つどいでも「防災無線設備」について質問したが、質問の趣旨は、落雷等で故障した場合に住民の通報で行政が初めて故障を把握するという前近代的設備が過疎地(中山間地)にあるということを知っていたきたいという思いだった。修理期間の7日～10日の間に何かあれば、住民はどうすればよいのだろうか。</p> <p>以前では考えられない気象変動が起きている。当自治会内では後期高齢者が7割を超え、ひとり住まいの多い地域では「緊急情報自動案内」に電話をすることは無理で「防災無線」に頼るしかないと思われる。</p> <p>菊川総合支所の建てかえに合わせて近代的設備にさせていただき、補助金カットもいいが「住民の安全・安心」を最優先にさせていただくようお願いする。</p>	<p>執行部に対しては、故障時の状況が直ちに把握できるような機器への更新を検討するよう促したところです。</p> <p>なお、現状においては、故障状況の把握ができないため、定時のミュージックチャイムが鳴らなくなったなど機器の不具合に気付かれた場合は、総合支所へ連絡をしていただきたいとのことでした。</p> <p>併せて、高齢者やお体が不自由な方に対しては、これから地域の連携が重要になってくると思いますので、地域での見守りも改めてお願いいたします。</p> <p>市議会としても、安心安全なまちとなるよう、取り組んでまいります。</p>

◎経済委員会（1件）

	内 容	回 答
1	<p>新規就農者をどう確保していくのか。</p>	<p>農業従事者の高齢化と減少が進む中、新規就農者の確保と育成は、市議会といたしましても重要な課題ととらえております。市をはじめ、県、やまぐち農林振興公社、JA等が窓口となって、新規就農希望者からの相談に対応しております。また、必要に応じて国、県、市の就農支援事業による支援も行っております。</p> <p>これらの支援を活用して平成23年度から5年間で、18名の方々が下関市で新たに</p>

		<p>就農しております。</p> <p>なお、最近では、農業法人への就業を希望する方々も増えており、市議会といたしましては、新規就業者を受入れる法人等への支援を今後とも行ってまいります。</p>
--	--	---

◎文教厚生委員会（４件）

	内 容	回 答
1	「ねこの適正飼養に関するガイドライン」を各自治会に配ってください。	<p>「ねこの適正飼養に関するガイドライン」は、各支所や総合支所、保健所等の窓口に設置しているほか、猫による被害でお困りの自治会から要望があれば配布していることですが、より積極的に配布してもらえよう働きかけたいと思います。</p> <p>なお、このガイドラインは、本市のホームページにも掲載していますので、それを印刷してご利用いただくことも可能です。</p>
2	小学校統合により空き学校施設が次々とできるが、その有効活用についての住民との協議は。	<p>教育委員会に確認したところ、学校は教育施設だけでなく、地域の文化やスポーツなどの拠点としての側面を持っていることから、保護者や地域住民の代表者で組織する学校統合準備協議会（仮称）等で地元としての意見をまとめていただいているところであるとのことでした。</p> <p>その後、そこで示された意見を参考とし、施設や地域の状況に応じた利用や処分を、全市的な行政需要を踏まえた上で関係部局と連携し検討していくとのことでした。</p>
3	年金がどんどん下がる中、60代の医療費の低減も検討できないか。	<p>医療費の低減のためには、単純な助成などのほかにも、当たり前ですが健康であることが大事です。市民の皆さんの健康寿命が長ければ、医療にかける金額が少なくても、医療に関するレベルを維持して住みやすいまちにすることが可能です。</p> <p>このためにも市の保健部、そして県とも連携をして、市民の皆さんが長く健康で過ごせるよう、いろいろな施策の働きかけをおこなっていきたいと思います。</p>
4	山口県は九州・山口で医療費が一番多く、全国で2位であるが、このレベルは維持して一番住みやすい県にしていきたい。特に農民は健康寿命が2割増していると聞いている。元気で働ける農業に注力していきたい。	

◎建設消防委員会（1件）

	内 容	回 答
1	<p>空き家の対策を早急に。他地域へ行かされている持ち家の人はどう対応するのか。</p>	<p>市内で空家は増加傾向にあり、今後同様の問題が多く発生するものと、議会としてもその対策の重要性を認識しております。</p> <p>所有者が不明の空家については、市で所在を確認して対応しています。</p> <p>危険な空き家等がありましたら都市整備部まちなみ住環境整備課までご相談ください。</p> <p>議会としても、空家問題については、今後も注視してまいります。</p>

◎議会運営委員会（5件）

	内 容	回 答
1	<p>予算が減る中で、人数を含め議員の手当はどうなっているのか。</p>	<p>下関市議会では、平成21年に議会改革に関する調査特別委員会を設置し、議員定数を38人から34人に削減しました。また、報酬については平成25年に第三者機関である特別職報酬審議会の意見聴取をへて、一律の削減となる条例改正を行っています。</p> <p>議会制民主主義の立場からいえば、定数の削減は市民の声を広く市に届ける人や、市が行っていることをチェックする人が減ってしまうことにもなります。また、報酬についても、あまり減ってしまうと、他に仕事を持つ者しか議員となれない、若者が議員を目指しにくいなどの問題があります。</p> <p>とはいえ、市の財政状態が厳しい中、市民の皆さんの理解を得なければならないのは当然ですので、今後も定数と報酬については説明を行っていきたいと考えています。</p>
2	<p>財政状態が厳しい中、また人口減少の進んでいる情勢を踏まえ、議員定数の削減に取り組んでいただきたい。</p>	<p>（この質問に対する回答は、上記の回答に含まれています。）</p>
3	<p>政務活動費がニュースになっているが、本市の状況はどうか。議会だより等で提示してはどうか。</p>	<p>下関市議会では、政務活動費については、毎年度4月30日までに、領収書等（1円以上全て）の証拠書類の原本を添付して議長に報告しており、収支報告の一覧や、政</p>

		<p>務活動費の使用基準である「政務活動費の手引き」をホームページで公開しています。また、領収書などの収支報告の詳細は、議会に来ていただければ閲覧することができます。</p> <p>本市議会では政務活動費を適正に取り扱っていることは、これからもいろいろな手段で積極的に説明してまいります。</p>
4	<p>議会だよりなどで、議案審議の内容を詳しく市民へ周知してください。</p>	<p>議案審議の内容を市民の皆さんに周知するためには、議会だよりも含め、いろいろな手段を考える必要があります。</p> <p>例えば、この「市民と議会のつどい」においても、各委員長の報告の際などに、どのような審議が行われたかより周知できるよう考えていきたいと思えます。</p>
5	<p>全議員が自己評価（自己採点）をしてほしい。</p>	<p>議員の自己評価は議員自身が行うべきであり、また個々の議員の評価は市民の皆さんが自由に行うべきであると思えますので、議会としてそれらを行うようにさせるということは考えておりません。</p> <p>しかし、市民の皆さんの声は積極的に採り入れて襟を正してまいりたいと思えますので、ぜひ今後も議会に苦言・提言をお願いいたします。</p>

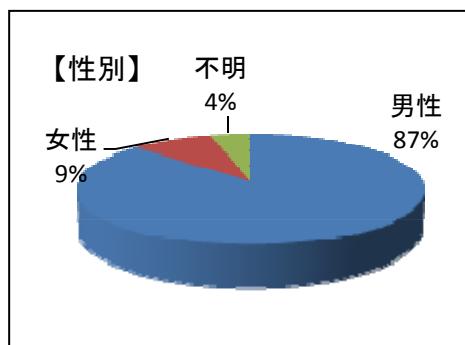
# 市民と議会のつどい アンケート結果

(平成28年11月4日開催：川棚公民館)

参加者30名、アンケート回答者23名、アンケート回収率77%

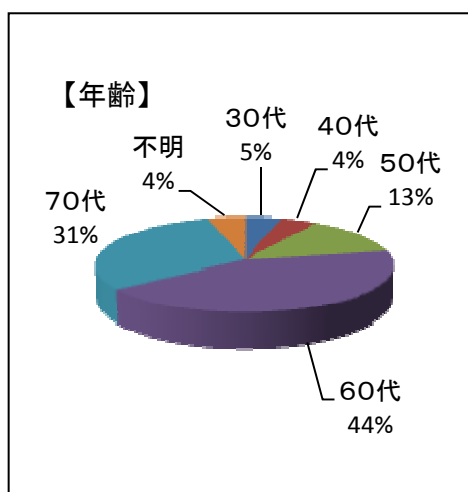
## 【性別】

性別	集計
男性	20
女性	2
不明	1
総計	23



## 【年齢】

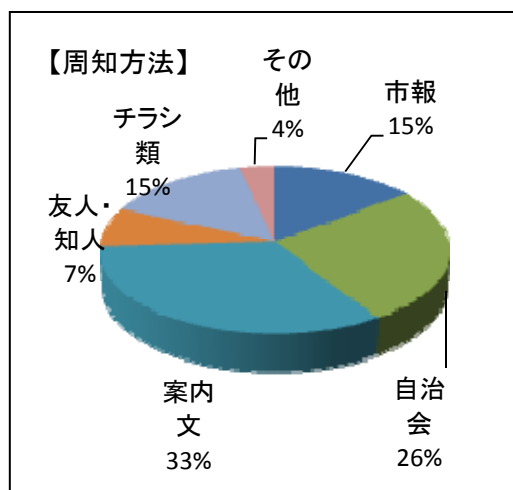
年齢	集計
30代	1
40代	1
50代	3
60代	10
70代	7
不明	1
総計	23



## 【開催を何で知りましたか】

※複数回答

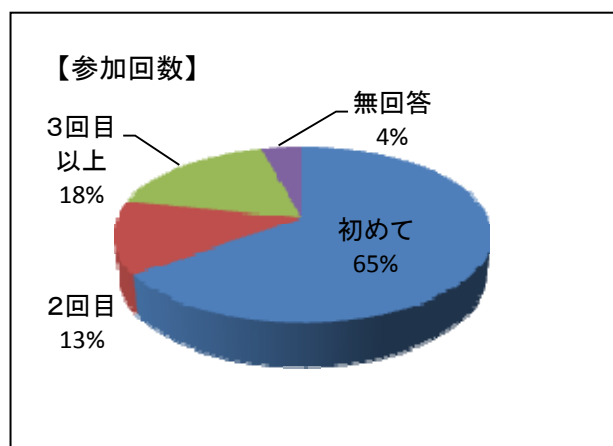
周知方法	集計
市報（議会だより）	4
議会ホームページ	0
自治会の回覧・掲示	7
議員から	0
議会からの案内文	9
友人・知人から	2
チラシ・ポスター	4
その他（※）	1
総計	27



※その他…自分が行政に聞いて確認

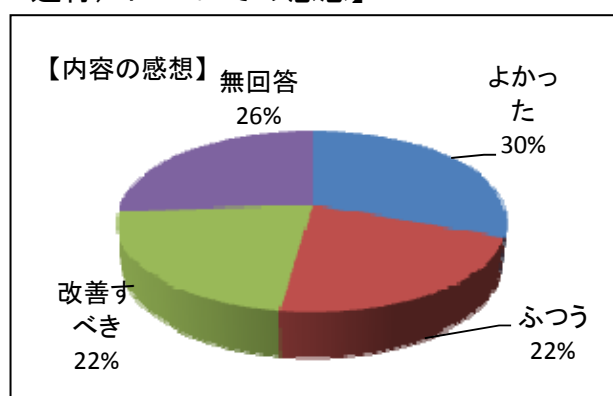
### 【つどいへの参加は何回目か】

	集計
初めて	15
2回目	3
3回目以上	4
無回答	1
総計	23



### 【本日のつどいの内容（報告・質疑応答・進行）についての感想】

	集計
良かった	7
ふつう	5
改善してほしい	5
無回答	6
総計	23



(理由)

(よかった)

- ・直接意見が聞けたことがよかった。
- ・率直な意見交換ができた。
- ・大変勉強になりました。
- ・地域の問題点や意見が直接聞けた。

(ふつう)

- ・クレームが多い。前向きの内容がない。テーマを決めてほしい。

(改善してほしい)

- ・議員の立場と行政の立場を混同して、わかりづらかった。
- ・その場の質問ではなく、事前に質問の内容を聞いて、それに対する回答をするほうがいいのではないか。苦情を聞く場になってしまっている。
- ・市民との目線の差が大きいと思った。
- ・できるだけ委員会からの報告は少なくしてほしい。他の議員にも前か横に並んでほしい。

(その他)

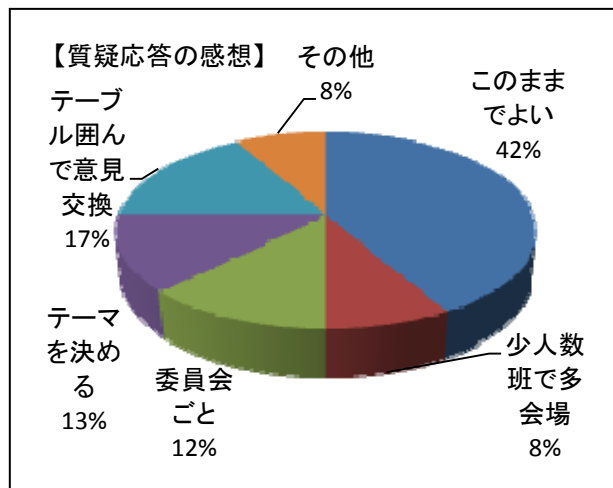
- ・議員の回答は大体良好。しかし質問はちょっとおかしいのがあった。



【次回のつどいはどのようなやり方がよいか】

※複数回答

	集計
このままでよい	10
少人数班で他会場開催	2
委員会ごとに分かれて	3
テーマを決めて行う	3
議員とテーブルで意見交換	4
参加者を無作為抽出	0
その他	2
総計	24



(「その他」の内容)

- ・参加人数をふやす。(年寄りが多いため)年代別、女性の参加を検討する。  
新しい発想が生まれにくい。→まちづくり協議会(各団体)からの参加を。
- ・時間をせめて2時間とってほしい。

### 【今回のつどいに対するご意見】

(7件)

1	市民と議会のつどいを今後も続けていただきたい。また、地域の議員と地域の問題点を話し合う機会をふやしていただきたい。
2	事前にアンケート用紙の配布をお願いします。各種団体等にも配布するともっと有効ではないでしょうか。意見については広く広報してほしい。
3	事前に質問事項を聞いて、つどいで説明できるようにしては。
4	市民の生活実態を具体的につかんだ議論となっていないのでは。市民の中の議論を深める意味でも、もっと回数をふやしてほしいと思います。
5	議会の論点を資料に載せてほしい。
6	安保法制について質問したが、提案者の1人は見解の相違と切って捨てた。憲法を守るという姿勢がない。憲法の改正という場合、本質的なことと枝葉の問題を理解しないで「指1本触れてもいけないのか」と居直る姿勢は見苦しい。
7	安全法制についての決議について、考え方はそれぞれあって尊重されるべきと思いますが、選挙の際にそういう論点をはっきりと打ち出していたらと思います。前回の選挙でそういう主張をあまり聞かなかったのではないかと思返しています。信念のあるところを一番明確にしてくださいかったです。

### 【議会に対するご意見等】

(2件)

1	各議員の日頃の活動が見えない。もっとレポートなり、HPなり活動をアピールしてほしい。
2	もっといろんな法律なり、ガイドラインをつくってほしい。

【市議会に対する質問・要望等への回答】

(平成28年11月4日開催：川棚公民館)

◎総務委員会（1件）

	内 容	回 答 案
1	自治会活動の負担があまりに多い。高齢化人口減少への対応になっていない。脱退したいと意思表示する方がふえているのが実情です。実情を把握していない件が多すぎる。	自治会活動は地域によって差異がありますが、まずは自治会内で協議される必要があります。 今回の市民と議会のつどいでは、高齢化に伴う草刈りについて困難である旨の話がありましたが、草刈り作業で危険箇所などもありますので、まずは関係部署（支所）へご相談下さい。市議会としても状況を把握したうえで、対応を促してまいりたいと考えています。

◎経済委員会（5件）

	内 容	回 答 案
1	鳥獣害について。	近年の鳥獣被害は全国的な問題であり、本市においても鳥獣被害は著しく、農林業従事者にとりまして、生活、生産基盤を脅かす非常に深刻な問題と認識しております。 農林作物被害対策として、個体数を調整する「捕獲」と、金網柵や電気柵などの設置により、耕作地被害を未然に防ぐ「防護」を行っております。 参考までに直近の3年間の主要な有害獣の捕獲頭数は、平成25年度から順に、イノシシでは1,202頭、1,047頭、1,182頭、シカでは1,301頭、1,360頭、1,282頭、またサルでは45頭、48頭、55頭となっております。 被害額は平成25年度から順に、約1億7,600万、1億6,000万、1億4,300万と、徐々にではありますが減少してきております。 市議会といたしましても、下関市鳥獣被害防止計画に基づいた取り組みを推進していくよう、市に対して働きかけてまいります。

2	川棚、小串海岸線のテトラポットの撤去はいつか。 住民が安心して行こうとすることができる海岸になるのか(工事現場と化している)	アンケートに記載されている具体的な場所が分かりませんので、お手数ですが、豊浦総合支所農林水産課にご相談してください。「市民と議会のつどい」にて、お尋ねがあったことは伝えております。
3	「海・山・温泉のまち豊浦」として観光での交流人口増大も必要。	現在、下関市は、観光協会等と協力し、各種イベントの開催や観光宣伝活動等を実施し交流人口の拡大に努めておりますが、市議会といたしましても、今後も関係機関との連携を強化していくことを市に対して働きかけてまいります。
4	松林を再生させる計画があると聞いているが、いつになるのか。	アンケートに記載されている内容は豊浦町の松谷海岸で、山口県が実施している遊歩道等含めた海岸の整備事業のことと思われます。 以前あった松林を再生させる計画につきましては、実施主体を含め、県と協議中とのこと。市議会といたしましては、動向を注視してまいりたいと思います。
5	買物難民を減らすため、コンビニやスーパーとタイアップして移動販売を実施してはどうか。(小串地区) 買い物の楽しさと、現品を見て買いたいと住民が希望している。	コンビニエンスストアを初めとした小売業の一部で、移動販売や宅配サービスを実施しています。市議会といたしましては、本事業の民間での取り組みがより進むことを期待するとともに、どのような方法が効果的か研究してまいりたいと考えております。

◎建設消防委員会（5件）

	内 容	回 答 案
1	川棚川の草刈りはどのようになっているのか。	川棚川は市が管理する区間と県が管理する区間に分かれております。市が管理する箇所は、旧小野小学校付近から横道までの区間になります。 河川の草刈りは多くの要望があり、すぐにはいきませんが、河川の通水断面を著しく阻害している場合などには、市で緊急性に応じて伐採などの必要な対策を実施し

		<p>ております。</p> <p>市議会としても河川の適正な管理が行われるようしっかりと取り組んでまいりたいと思っております。</p>
2	<p>空き屋対策について。</p>	<p>管理が不適切で周辺的生活環境に悪影響を及ぼしている空家等に対して、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき所有者等の所在を調査し、助言や指導等を行っていくこととなっております。</p> <p>また、空き家の利活用に関する相談窓口の設置のほか、空き家の状況等に応じて対応できるよう管理費用や改修費用、解体費用の補助を行い、所有者等による対応や適切な管理を促しているところです。</p> <p>危険な空き家等がありましたら都市整備部まちなみ住環境整備課にご相談ください。</p>
3	<p>市道管理について。</p>	<p>市道管理につきましては、市の職員が点検に努めておりますが、お気づきがあれば、現場を確認するとのことですので、本庁管内であれば、道路課に、各総合支所管内であれば、各総合支所の建設課にまずはご相談ください。</p>
4	<p>市道の路肩の草刈り、立木の伐採について要望したところ、用地所有者が管理しなければならないと答えがあった。</p> <p>もし用地所有者が市であれば、市が実施していただけるのか。</p>	<p>要望も多く、すぐにとはいきませんが、市道用地で通行の支障となっている箇所については、市の方で緊急性に応じて順番に伐採を検討いたします。</p> <p>市議会としても適正な道路管理が行われるよう対応してまいりたいと考えております。</p>
5	<p>木の伐採について、高い箇所は重機等が必要であり、通行止めとなるが、どうすればよいか（市有地以外の場合）</p>	<p>市道の上に、隣接する民地から樹木がせり出して、著しく通行の妨げになる、若しくは、著しく危険な状態である場合として回答させていただきます。</p> <p>基本的には民地の場合、所有者が対処していただくこととなります。重機等で市道を通行止めにししないと作業できないようであれば、警察署の道路使用の許可を受けていただく必要があります。</p> <p>本庁管内であれば、道路課に、各総合支所管内であれば、各総合支所の建設課にま</p>

		<p>ずはご相談ください。</p> <p>高齢化が進んでおり、民地の所有者が不在であったり、作業できる者がいない等同様な相談も増えており、議会としても重要な課題であると認識しております。</p>
--	--	---

◎議会運営委員会（1件）

	内 容	回 答 案
1	<p>市長への手紙のような、声を届け返事がもらえるシステムをつくってほしい。</p>	<p>市議会には請願・陳情という、市政に関する要望を議会に提出することができるシステムがあります。（紹介議員があるものが請願、ないものが陳情です。）</p> <p>請願は、委員会で審査されたのち、本会議において採択の可否を採決します。</p> <p>陳情は、市民から来た市政に関する要望と判断される文書について、委員会で内容について協議し、回答できるものは議長から陳情者に回答文書を送っています。</p> <p>これらのシステムをぜひご活用いただくようお願いいたします。</p>

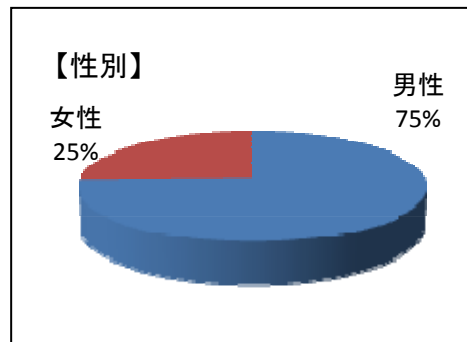
# 市民と議会のつどい アンケート結果

(平成28年11月11日開催：教育センター)

参加者72名、アンケート回答者51名、アンケート回収率71%

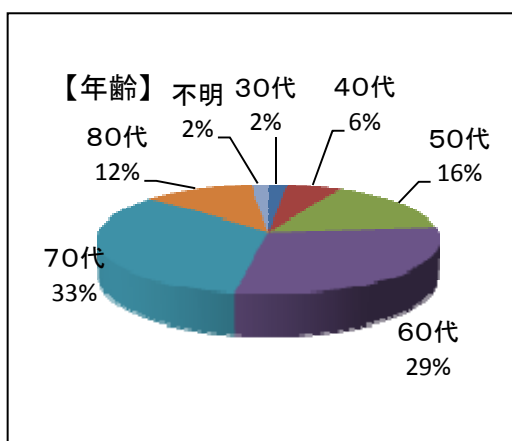
## 【性別】

性別	集計
男性	38
女性	13
不明	0
総計	51



## 【年齢】

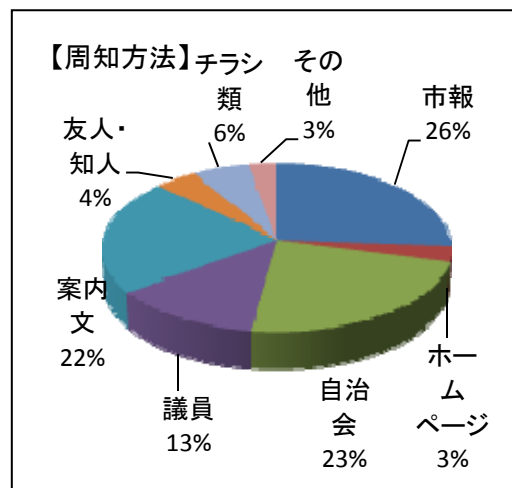
年齢	集計
30代	1
40代	3
50代	8
60代	15
70代	17
80代	6
不明	1
総計	51



## 【開催を何で知りましたか】

※複数回答

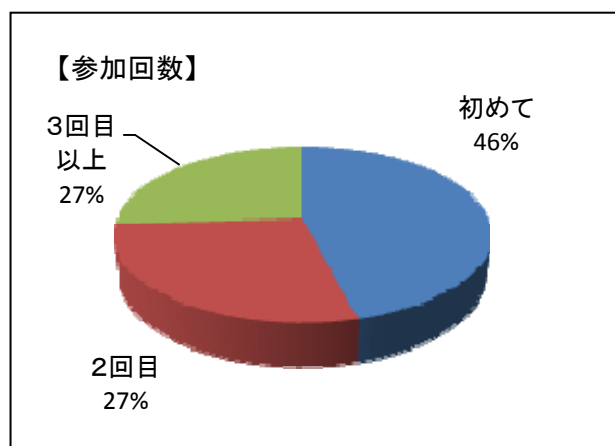
周知方法	集計
市報（議会だより）	18
議会ホームページ	2
自治会の回覧・掲示	16
議員から	9
議会からの案内文	15
友人・知人から	3
チラシ・ポスター	4
その他（※）	2
総計	69



※その他…認知症関係団体から、無回答

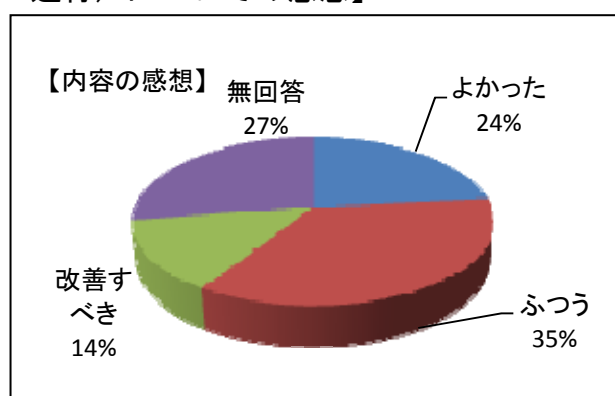
### 【つどいへの参加は何回目か】

	集計
初めて	23
2回目	14
3回目以上	14
総計	51



### 【本日のつどいの内容（報告・質疑応答・進行）についての感想】

	集計
良かった	12
ふつう	18
改善してほしい	7
無回答	14
総計	51



(理由)

(よかった)

- ・意見が多く出ました。
- ・水道料金が高いという話とかは初めて聞きました。ねこのふんとゲロと毛の話はたしかにそう思いました。
- ・進行はとてもスムーズでした。質疑が今日の議題と違う場合があったので、そこは違うのではないかと思いました。
- ・わかりやすくよかった。質問者の意味のわからない話が長く、時間ももったいない。
- ・参加者のいろいろな意見が聞けてよかった。
- ・質疑応答がかなり充実していた。参加者も多かった。
- ・福田議員の応答はわかりやすかった。

(ふつう)

- ・ただ文章を読むだけで自分の考えがない。
- ・1問1答では物足りないのでは。
- ・報告や質疑応答時間が少ないと思います。
- ・初参加でしたが、市民であることを考えさせられました。
- ・意見はたくさん出たが、本当に改善してほしい意見がない。
- ・早口で説明されても頭の中に入りませんでした。(経済副委員長) 時間を気にされていたのでしょうか。



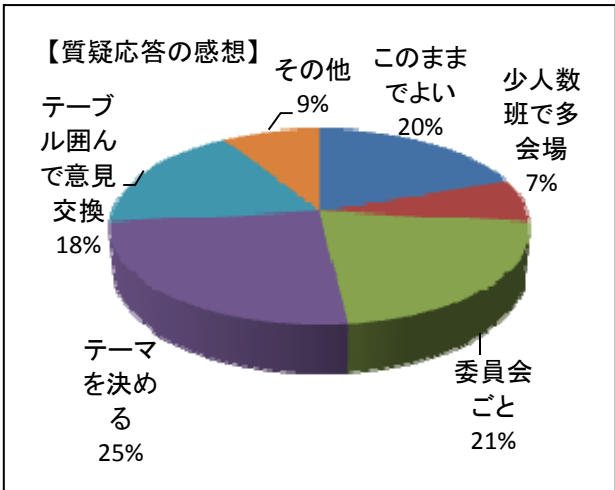
(改善してほしい)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に質問内容をチェックしてほしい。</li> <li>・各委員会の所管事項の説明はもっと簡潔に。予定時間の半分を占める。質問者の質問要点が何なのか参加者がわかりにくいので、司会者は参加者に質疑内容を説明してほしい。</li> </ul>

(その他)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Q&amp;A形式にとぼしい。</li> <li>・「活動報告」に時間をかけすぎ。簡単な説明をすること。質疑応答に時間をかけてほしい。ペーパーを読む必要はない。</li> <li>・各委員の方には持ち時間があつたと思いますが、早口等で聞き取りにくく思いました。</li> </ul>

【次回のつどいはどのようなやり方がよいか】

※複数回答

	集計
このままでよい	1 1
少人数班で他会場開催	4
委員会ごとに分かれて	1 2
テーマを決めて行う	1 4
議員とテーブルで意見交換	1 0
参加者を無作為抽出	0
その他	5
総 計	5 6



(「その他」の内容)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催時間をもっと早く、例えば18時からとか。</li> <li>・時間を早めにしてほしい。午後6時ごろ。</li> <li>・事前に質問を受け付け的確な回答が得られるようなシステムにする。</li> <li>・事前に質問内容をチェックしてほしい。</li> <li>・全体のつどいと委員会ごとのつどいをしてほしいです。</li> </ul>

## 【今回のつどいに対するご意見】

(18件)

1	開催時間を早くしてほしい。他は6時になっているが、教育センターでは7時では遅い。
2	つどいの開催時間を早めてほしい。
3	初めて参加させてもらいましたが、有意義でした。
4	各定例会のあとにつどいをやってほしい。
5	この場は必要です。今後も頼みます。
6	質問事項を前もってとりまとめてはどうですか。議員の方の回答の負担を軽くするためです。
7	市議会議員の提案、特に地域活性化に対する案でも討論できればと思います。
8	聞いていて、質問の要旨のはっきりしない内容のものもあり、時間的に無駄である。市民の意識を高めるためにも、もう少し身近な場所での会合をもってほしい。(開催場所をふやす。)
9	資料を読むだけなら市報を出せばよい。大変だと思いますが、新しいチャレンジとしてはよいと思います。
10	市民の不平不満は聞きたくない。委員会で方向性を参加者に投げかけるやり方のほうがよいのでは。
11	参加者の意見聴取は事前に書面で示していないと質問意見の趣旨がつかみにくい。
12	委員会の活動報告と言いながら、市の事業・施設のPRが主で、議員の活動内容がまったく報告されていない。議員が日頃どのような活動をしているのか、議員報酬に見合う仕事をしているのかがわかるような報告をしていただきたい。
13	目の前の問題だけでなく、50年後、100年後の下関が見える話を聞きたかった。
14	身勝手なくならない質問が多すぎる。
15	今日のようなつどいは年1回開催だと思いますが、活発な意見が出て有意義な時間だったと思います。1回ではなく複数回開催してもらえればと思います。
16	いきなり質問をしても答えがすぐには出ないだろうと思うので、開催の1週間くらい前に「質問内容」を提出すればと思う。
17	関係の委員会だけで開催してはどうか。
18	2カ月に1回は開催してほしい。

## 【議会に対するご意見等】

(5件)

1	本当に市民の立場、目線になって物事を見てほしい。
2	支出についての問題（議題）が中心になりがちだが、根本問題についてはあまり議論が進んでいないように思われる。すなわち、なぜ若者を下関に定着させる案が出ないのでしょうか。若者の流出はそのまま都市の衰退になり、税収減の赤字都市となります。ぜひ魅力ある下関市となるよう、一層の努力をお願いします。
3	議会が行政の行った事業に対する評価を公表する制度がほしい。情報公開請求に対する不十分なところをバックアップしてもらいたい。市民目線で公共工事の不正を公表する、または入札結果を公開するなど。
4	一次産業者が少なくなっています。もっと夢のあるよう、他市を見ていただき、視察に行つて発表をしてほしい。
5	市の発展は、安倍総理在任中にあります。市民や経済界、市幹部の方々はもっともっと安倍総理とコミュニケーションをとっていただき、もっと市を発展させてほしい。

**【市議会に対する質問・要望等への回答】**  
 (平成28年11月11日開催：教育センター)

◎総務委員会（2件）

	内 容	回 答
1	<p>床面積が他県に比べたら多いということだが、新しい建物ができているのは、どういうことでしょうか。</p>	<p>市では公共施設（公民館、図書館、体育館など）の老朽化に伴い、どのような維持管理をしていくべきか、また、最近では地震も多く、昔の設計指針に基づき建築されているため、構造的に安心安全な施設となっておらず、改修が必要となっている建物もあることから、総合的に判断され、集約も含めた大規模改修か立て替えかの判断をしています。</p> <p>市議会ではその判断を受け、慎重審議をしています。これからも新規建設については必要性や建設経費等をよく精査し、審議してまいります。</p>
2	<p>まちづくり協議会の立ち上げからの活動はどのような状態ですか。</p>	<p>12月をもって、すべての地区（17地区）で活動が始まりました。市議会議員も各地区の協議会で、顧問としてかかわっていますのでよろしくお願いします。</p> <p>各地区において、特色ある活動や共通の行事も行っているようですが、まちづくり協議会は立ち上げから間もない地区もあることから、各地区の取り組みについては、今後、タイミングをみて執行部に状況を確認したいと思います。</p> <p>なお、執行部に対しては、まちづくり協議会に係る広報の充実も促したところです。</p>

◎経済委員会（4件）

	内 容	回 答 案
1	<p>失業した人が職を求めに行くのがハローワークである。農業・水産業などの担い手確保はハローワークへ求人が出せるよう、法人化を進めるべきである。</p>	<p>現在、本市では会社法人が17、農事組合法人が31の合計48の法人があります。</p> <p>国においても、担い手への農地の集積を図るために経営規模の拡大を目指す農業法人の育成を推進しており、本市においても県と市が協力して法人化を支援しております。</p>

		<p>す。</p> <p>農業の法人化による経営面積の拡大等から労働力の確保が課題となっているので、法人の経営が安定し規模拡大が進めば、ご意見のとおり、経営の担い手を確保するためにハローワークでの求人も増えるものと思います。</p>
2	<p>海響館の料金について 市内・市外の料金が倍ぐらい違うが、市外から子供たちや孫たちが来た場合、一家で入館するととても高く大変です。そろそろ同額か家族割を設定してほしいのですが。</p>	<p>海響館の観覧料につきましては、条例で市民料金が明示されております。</p> <p>市議会といたしましては、交流人口の拡大の観点から、調査研究してまいりたいと思います。</p>
3	<p>企業誘致に対して、どのくらいの雇用があるのか。</p>	<p>平成 25 年度以降に企業立地協定を締結した状況で見ますと、市外からの新規誘致は 2 件、予定雇用者は 28 人。市内企業の拡大投資では 7 件、予定雇用者は 170 人となっております。</p> <p>市議会といたしましても、企業誘致アクションプランに基づいた取り組みを推進していくよう市に働きかけてまいります。</p>
4	<p>下関が活気ある市になるための 1 つとして、観光客の取り込みや経済効果を出せるよう、もう少し努力するべきではないかと思います。</p> <p>山口県全体でも、下関の中でも、名所はあると思います。百貨店やいろいろなお店ももっと努力してもよいのでは。</p>	<p>ご意見のとおり、観光は幅広い産業に波及する、すそ野の広い総合産業として、地域の経済に大きな影響を与えるものであると認識しております。</p> <p>市議会といたしましても、引き続き官民一体となって交流人口の拡大に取り組んでまいりたいと思います。</p>

◎文教厚生委員会（9 件）

	内 容	回 答 案
1	<p>教育センターを一般に開放してほしい。（会議等）</p>	<p>教育センターの会議室の本来の目的は教師の先生方の研修や研究ですので、まずはその使用状況を確認いたします。</p> <p>その結果、研修を開催するのに問題がなさそうであれば、市議会としても積極的に開放を要求していきたいと思います。</p>

2	<p>障害者に対して根本的にどうするのですか。</p> <p>同じ職場実習でも、時給もバス代も弁当代もありません。せめて弁当代をいただけないでしょうか。</p> <p>立場の悪い意見を採り入れていただければ幸いです。</p>	<p>お話にある弁当代や生活保護などは、私企業の方針や国の法律要件であり、議会としてすぐに何かができるというものではありません。</p> <p>しかし、社会における障害者の立場の強化は非常に大事なことであり、市議会としては、常に障害者に対してフォローがなされるよう、市に働きかけてまいりたいと思います。</p>
3	<p>障害者に生活保護を出してほしい。</p>	
4	<p>児童の医療費無料化の実現をお願いします。</p> <p>障害者雇用の問題、教育問題、様々あるけれど、是非優先順位を考えていただきたい。</p>	<p>おっしゃるとおり、いろいろな施策は優先順位を考えて行う必要があります、子どもへの施策は順位が非常に高いものの1つであると思います。</p> <p>つどいでも報告しましたが、3割負担から2割負担への軽減はまだ第一歩であると考えています。児童の医療費無料化については、市の予算上のバランスも考えながら、他の子育て支援事業の充実と併せて考えるとともに、国や県の協力が得られるようにも要求してまいりたいと思います。</p>
5	<p>ねこの件は早急にしてほしい。一匹一匹首に綱をつけるように。</p>	<p>ねこの問題については、つどいでもいろいろと話が出てまいりましたが、委員会としてもこの1年、この件について活動方針の1つと決定して研究してまいりました。</p> <p>現在下関市においては、飼猫の不適正な飼養に加え、野良猫への無秩序なエサやり等によって、ふん尿被害、ゴミステーションや畑、花壇が荒らされるといった生活環境に支障が生じる事態が多数発生しています。動物愛護管理センターには毎日のようにこのような猫に関する苦情が寄せられています。</p>
6	<p>ねこの話は、なぜねこと共生しないといけないのか。パンフをつくったりそのための人件費が無駄。そんな金があれば助けなければいけない人間に使ってほしい。ねことコミュニケーションはとれないし、パンフに書かれていることは実現不可能。なぜ何万の金と手間をねこのためにかけないといけないのか。野良猫をつくらない、つくらせない方法に重点をおく。その考えでやればす</p>	<p>また、無秩序なエサやりにより野良猫が過度に繁殖し、その結果増えすぎた猫がセンターに持ち込まれ、平成27年度は737頭もの猫が殺処分となっています。</p> <p>委員会としても、こうした事態を憂慮し、エサやり禁止条例も視野に入中、市の保健部が、こうした事態を解決して地域の生活環境を保全するとともに、野良猫を生じさせず、減らしていくための1つの方策と</p>

	<p>ぐ問題はなくなる。</p> <p>愛護団体が怖いからという意味の答えがあったが、まったく行政の方の答えだとは思えません。</p>	<p>して、また、猫の殺処分数の減少を図ることを目的として、『ねこの適正飼養に関するガイドライン～人とねこが共生できるまちを目指して～』を作成しました。</p> <p>猫をめぐる様々な問題については、条例を設けて厳しく対応すべきだという意見がある一方で、動物愛護の観点からそうした動きに強く反対する市民の方々も大勢おられます。</p> <p>市としては、市民の皆さまが猫の習性や飼猫の適正飼養、野良猫に接する際の対応について、このガイドラインを通して理解していただくことにより、猫をめぐる様々な問題が少しずつ解消されてほしいと期待するものであり、委員会としてもまずはこの効果を確認しようと考えています。</p> <p>なお、猫に関する苦情についてですが、まずは動物愛護管理センターに電話をお願いします。苦情の対象者が分かれば、センター職員が現場に出向いて確認した上で、当事者に対し直接指導を行なっています。</p> <p>いろいろと問題が起きていることはわかっており、市議会としてもこれを放置する気はありません。事例があればまたいろいろと教えていただきたいと思います。</p>
7	<p>愛護協会の人からねこを捨てに来た。困っている地域に行って、どれだけ臭いがひどいか確認してください。</p>	
8	<p>アパートの近くに野良猫がたくさんいます。子ねこが増えて困っています。</p>	
9	<p>各委員会の報告資料の項目はどんな方法で抽出されたのでしょうか。</p> <p>下関市は「最も高い国保料」と新聞に報道されましたが、生活に一番密着しているこの件の項目が皆無でしたが、議会で真剣に取り組んでほしい。議員が高くないと答えられていましたが、市のほうにはかるべきでしょう。</p>	<p>各委員会の報告項目は、それぞれの委員会の中で協議して決定しています。文教厚生委員会では、今年の活動方針に当てはまる事項の中から正副委員長で選定し、委員会でも了解をもらいました。今回は国保料よりも介護保険の事業変更の詳細を説明するほうがつどいの場に適していると考えました。</p> <p>国保料については、計算方法によりとらえ方が変わりますが、「高い」と思われる方が多くいらっしゃるということも了解しています。今後も市に配慮を働きかけていきたいと思っています。</p>

◎建設消防委員会（1件）

	内 容	回 答 案
1	印内交差点の改修工事は結構なことですが、信号機の統一（手動式が流れを混乱させている）を組み込んでほしい。	印内交差点の改修を進める中で、ご意見を国や警察等関係機関にお伝えいたします。 今後も安全安心な道路整備が進められるよう努力してまいります。



## 下関市議会各委員会の紹介（平成28年12月16日現在）

### ◆議会運営委員会（市民と議会のつどいの企画と運営は議会運営委員会が行っています。）

名称	所管事項	委員（◎委員長、○副委員長）
議会運営委員会	議会の運営に関する事項、議会の会議規則及び委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項の調査、並びに議案、請願等の審査を行います。	◎平岡 泰彦、○恵良 健一郎 林 真一郎、 亀田 博 山下 隆夫、 林 透 田中 義一、 桧垣 徳雄 板谷 正

### ◆常任委員会

名称	所管事項	委員（◎委員長、○副委員長）
総務委員会	総合政策部、総務部、まちづくり推進部、財政部、市民部、契約部、出納室、監査委員及び選挙管理委員会の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属さない事項	◎福田 幸博、○江村 卓三 亀田 博、 山下 隆夫 木本 暢一、 戸澤 昭夫 藤村 博美、 片山 房一 恵良 健一郎
経済委員会	環境部、観光交流部、産業振興部、農林水産振興部、ボートレース企業局及び農業委員会の所管に属する事項	◎松田 英二、○平田 陽道 関谷 博、 江原 満寿男 田辺 よし子、 林 真一郎 菅原 明、 田中 義一
文教厚生委員会	福祉部、こども未来部、保健部及び教育委員会の所管に属する事項	◎小熊坂 孝司、○板谷 正 浦岡 昌博、 香川 昌則 安岡 克昌、 桧垣 徳雄 濱岡 歳生、 井川 典子
建設消防委員会	建設部、都市整備部、港湾局、上下水道局及び消防局の所管に属する事項	◎村中 克好、○吉田 真次 近藤 栄次郎、 平岡 泰彦 林 透、 本池 妙子 前東 直樹、 酒本 哲也